

# 令和3年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査における

## 北九州市立 枝光 小学校の結果分析と今後の取組について

スポーツ庁による「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」について、令和3年6～7月に、5年生を対象として、「運動習慣等」についての調査を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。本結果は、学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。運動習慣は、学校のみでなく、家庭で運動を一緒に「する・みる・話す」ことが大切です。本校では、運動習慣の確立と授業の充実により、総合的に体力の向上を目指しています。ご家庭でも運動習慣の確立に向けた取組の充実をお願いします。

※ 本年度、本市においては「体力・運動能力」についての調査は実施していません。

### 1. 調査の目的

- (1) 国が全国的な子供の体力の状況を把握・分析することにより、子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 各教育委員会が自らの子供の体力の向上に係る施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、子供の体力の向上に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- (3) 各学校が各児童生徒の体力や運動習慣、生活習慣等を把握し、学校における体育・健康に関する指導などの改善に役立てる。

### 2. 本市における調査内容

#### (1) 質問紙調査

運動習慣、生活習慣等に関する質問紙調査

※ 本校の5年生は、単学級ですので、個人が特定されるような公表の方法については、配慮しています。

### 3. 運動習慣や生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

#### 質問紙調査の結果分析

体育科の授業では、運動能力を向上させるために、友達と一緒に活動できる喜びを感じている児童が多い。しかし、運動が好きな児童とそうでない児童の二極化が見られる。そこで、今後も、より多くの児童が体育科以外の時間にも体を動かす楽しさや心地よさ、できるようになった達成感を味わうことができるように、運動できる場の設定を工夫する必要がある。

### 4. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科(授業)に関する取組(全校で・学年で・学級で)

- ・自分の動きをタブレット等を活用して動画で確認したり、友達と見合う場を設定したりすることで、自分自身の動きを視覚的に捉え、動きの質の向上を図る。
- ・運動が苦手な児童も達成感を味わって運動することができるように、個に応じたスモールステップでの目標設定を行い、運動に取り組めるように授業展開や場の工夫を行う。
- ・体育科の学習カードに、めあて、記録、振り返りを記録させ、自分の課題を明確にもって運動に取り組めるようにする。

#### ② 運動習慣等に関する取組(1校1取組)

- ・運動場にボール遊び用のラインを残すことで、休み時間に児童が自主的にボールを使った運動が行えるようにする。
- ・縄跳び運動などでは、がんばりカードを活用する。体育科学習だけでなく、休み時間の記録も残せるようにして、運動への意欲を高める。
- ・学級全員やたてわりグループ等で遊ぶ機会を設け、運動への親しみをもたせるとともに、体を動かす喜びを体感させる。